

省エネ・節電に関する意識調査

3割がLED電球の購入検討

節電にかかる平均予算は約37,000円

マーケティングリサーチを行う株式会社メディアインタラクティブでは、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。今回、2011年5月27日～30日の4日間に、全国の成人男女500名を対象に「省エネ・節電に関する実態調査」をテーマにした、インターネットリサーチを実施いたしました。東日本大震災を受けて、発電施設の稼働停止などの影響から全国的に節電の必要性が高まっています。特に、電力需要のひっ迫する夏にかけて、東京電力・東北電力管内の地域では一律15%の節電目標が設定されるなど、一層の節電が必要になる予想となっています。そのため今回は、個人レベルの節電意識を調査いたしました。

【調査概要】

1. 調査の方法：株式会社メディアインタラクティブの運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用したWEBアンケート方式で実施
2. 調査の対象：全国の成人男女を対象に実施
3. 有効回答数：500人
4. 調査実施日：2011年5月27日(金)～5月30日(月)

【調査結果概要】

【1】LED電球の購入検討が30.6%

節電関連の商品について、購入意思を聞いたところ、LED電球の購入検討が30.6%となりました。2009年12月に東京電力が発表した調査によると購入率が約10%、2010年5月にアイシェアが発表した調査によると、普及率14.8%となかなか普及が進まなかったLED電球だけに、かなり高い数字と言えそうです。これをきっかけに普及の拡大も見込まれるのではないのでしょうか。

【2】省エネ製品の購入障壁は「価格」8割強

省エネ製品の購入の上で、心理的障壁になっているものはやはり「価格」が8割強となりました。それ以外には「居住環境（賃貸、借家などの条件）」が34.8%、「設置場所（ソーラーパネルの設置スペースが無い）」31.0%となりました。居住環境に伴う制限については、なかなか解消が難しいものもありそうですが、価格障壁については普及の促進に伴う、生産の拡大が問題解決の糸口となるのではないのでしょうか。

【3】節電にかかる平均予算は約37,000円

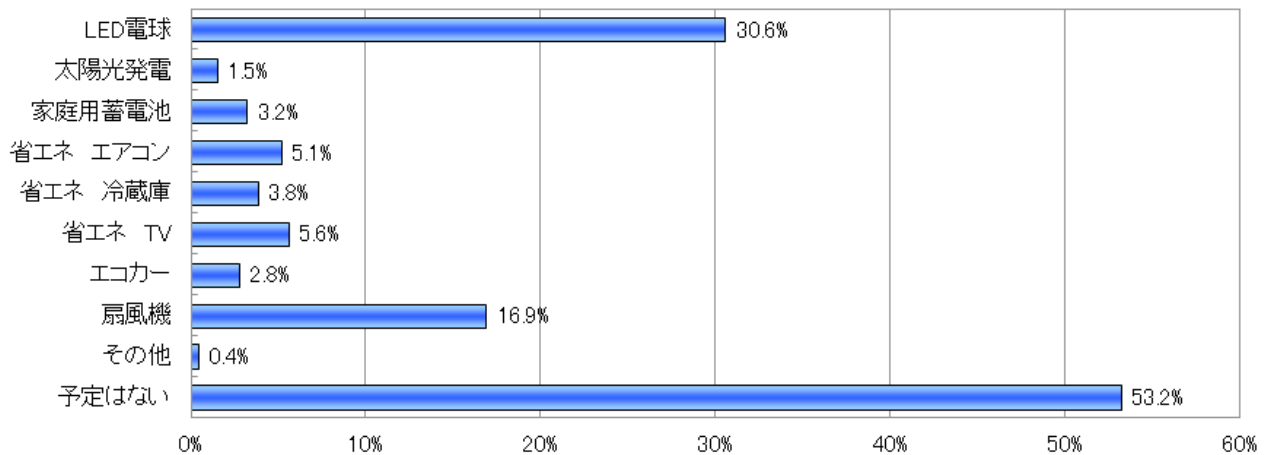
LED電球、ソーラーパネル、蓄電池など、節電関連の商品が数多く登場していますが、購入金額では若干既存製品よりは割高になる傾向があります。そこにいくら予算をかけるのかを聞いたところ、一番多く挙げたのは「5,000円～10,000円未満」という回答で全体の約1/4を占めました。想定予算の中央平均値を算出したところ、およそ37,000円となりました。

・・・本件に関するお問い合わせ先・・・

メディアインタラクティブ広報事務局 担当：飯村

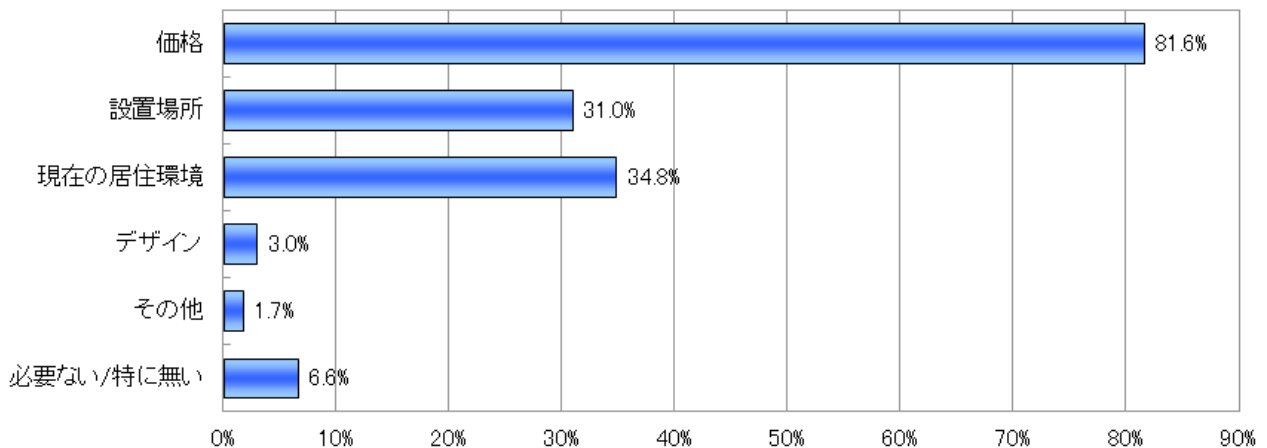
E-mail : pr@i-research.jp

Q.節電商品を1年以内に購入する予定はありますか。(複数回答可) (N=468)



節電関連の商品について、購入意思を聞いたところ、LED電球の購入検討が30.6%となりました。2009年12月に東京電力が発表した調査によると購入率が約10%、2010年5月にアイシェアが発表した調査によると、普及率14.8%となかなか普及が進まなかったLED電球だけに、かなり高い数字と言えそうです。これをきっかけに普及の拡大も見込まれるのではないのでしょうか。また、エアコンの効率を上げることからわかに注目を集めている扇風機も、購入意思を示した方が16.9%と高い数字となっています。家電量販店の夏商戦ではこの2商品に注目が集まりそうです。

Q.省エネ製品を導入するにあたって障壁となるものはありますか。(複数回答可) (N=468)



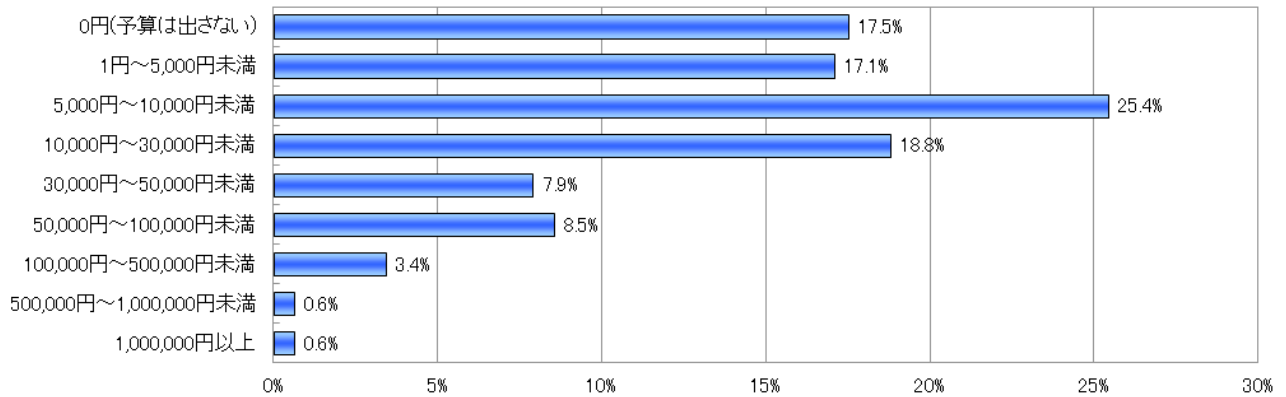
省エネ製品の購入の上で、心理的障壁になっているものはやはり「価格」が8割強となりました。それ以外には「居住環境（賃貸、借家などの条件）」が34.8%、「設置場所（ソーラーパネルの設置スペースが無い）」31.0%となりました。居住環境に伴う制限については、なかなか解消が難しいものもありそうですが、価格障壁については普及の促進に伴う、生産の拡大が問題解決の糸口となるのではないのでしょうか。政府も税制・補助金などで節電商品の購入を促す姿勢も示しており、今後は、生産体制の構築が急がれることもありそうです。

・・・本件に関するお問い合わせ先・・・

メディアインタラクティブ広報事務局 担当：飯村

E-mail : pr@i-research.jp

Q.省エネ製品など、省エネにかける予算はいくらまでなら出しますか。(お答えは一つ) (N=468)



LED 電球、ソーラーパネル、蓄電池など、節電関連の商品が数多く登場していますが、購入金額では若干既存製品よりは割高になる傾向があります。そこにいくら予算をかけるのかを聞いたところ、一番多く挙げたのは「5,000 円～10,000 円未満」という回答で全体の約 1/4 を占めました。想定予算の中央平均値を算出したところ、およそ 37,000 円となりました。成人人口がおよそ 1 億人であることを考えると、3 兆規模の消費が想定されることになり、一定の経済効果を生み出すことが考えられます。

【引用・転載時のクレジット表記のお願い】

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>

「インターネット調査のメディアインタラクティブが実施した調査結果によると・・・」

【詳細資料無料ダウンロードのお知らせ】

弊社アイリサーチサイトにて本調査における詳細資料の無料ダウンロードサービスを行っております。

ご興味のある方は下記より、アクセスをお願いします。

■無料独自調査データダウンロードサービス

http://www.i-research.jp/report_dl/list.html

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディアインタラクティブ

広報事務局：飯村崇史

TEL 03-6826-5000 FAX 03-6419-8375

e-mail pr@i-research.jp <http://www.i-research.jp>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-18 矢倉ビル 6F